

理事会・評議員会報告

令和6年11月20日 理事会
令和6年12月6日 評議員会を開催いたしました。
理事退任 山本 雅司
理事就任 土山 英彦

利用者様の動き

- 和気本場
退所 浅井陽介様 (8月31日)
- 表町分場
分場閉鎖に伴い、個々に合った新しい日中活動の場に皆様が移行されました。

職員の動き



入職 香山 友路 (9月16日付採用)
令和3年度に1年程勤務させていただいた経験があります。
利用者様に寄り添った温かい支援が出来ればと思います。
何卒よろしくお願い致します！

退職 田端 裕喜 (7月25日付)
角南 愛 (9月30日付)
林 光希 (11月30日付)
小田 桃華 (12月31日付)

寄付・物品寄付のお礼

(順不同) 令和6年6月～11月

●本原孝也様 ●奥山 進様 ●松本章弘様
●西村 茂様 ●ぽれぽれ家族会様
地域の方から沢山の野菜をいただきました。
お心遣い賜りまして、誠にありがとうございました。

今後の行事予定 (令和7年1月～令和7年3月)

- 1月21日 健康診断
- 2月19日 第三者委員会
- 3月4日 春の寿司
- 3月12日 理事会
- 3月20日 家族会役員会

変更や中止になる場合がありますのでご了承ください。

編集後記

寒に入り寒さが一段と厳しくなってきました。ぽれぽれの友48号をお読みいただきありがとうございました。利用者の皆様の笑顔と、『ぽれぽれ』の様子がお伝えできていれば幸いです。広報誌の作成にあたり、お力添えいただきました皆様に心より感謝申し上げます。
(広報委員 吉崎郁子)



8月7日
サマーバケーション



10月14日
ハロウィンパーティー



発行/社会福祉法人 恒和永千会 障害者支援施設ぽれぽれ
〒709-0523 岡山県和気郡和気町小坂1273-7
TEL: 0869-88-9777 FAX: 0869-88-9778

新年のご挨拶

理事長 神田光弘

皆さん明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。令和7年の新年を迎え、ひとことご挨拶を申し上げます。

昨年は社会全体がようやくコロナ前に戻ってまいりましたが、ロシア・ウクライナ戦争は一向に終息の兆しはなく、イスラエルとハマスによる紛争はレバノンなど周辺国へも拡大しています。これらに関連して物価は高騰し、又インパウンドの急激な回復もこれに拍車をかけ、当施設の運営にも数々の支出の増大などに現れてきています。さらにアメリカ大統領の交代や隣国韓国での戒厳令騒動なども、今後の私たち一般社会に与える影響は少しずつ大きくなると予想されます。不安定な社会になると、弱者に対してその影響がより大きく及ぶこととなりますので、一刻も早くこれらの混乱の終息が訪れることを願うばかりです。

当施設においても、昨年は虐待事案やこれによる刑事事件の発生など、利用者・家族会の皆様をはじめ多くの方々にご迷惑・ご心配をおかけいたしました。深くお詫び申し上げますとともに、

これらの諸問題に対する改善策をさらに進めていく所存です。私は、役員・管理者・職員一同が、施設の運営や支援の在り方一つ一つを初心に戻って行うことが大事ではないかと考えています。

さて、当施設の表町分場につきまして、惜しまれますが昨年末をもって閉鎖いたしました。今後は和気本場へ集中して体制を整えたいと存じます。これまで長らくご利用いただきました皆様や関係各位に心より感謝申し上げます。

又本年は、昨年末の前管理者の定年退職に伴って、新たな施設管理者が新年より新体制で運営を担ってまいります。「ばればれ」の利用者、家族会の皆様、役員・職員の皆様が共に笑顔で平穏な日々を過ごしていけるような施設を目指して、職員一同、明るく新体制での運営を進めていきたいと存じますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、地元の皆様、利用者・家族会の皆様、理事、評議員役員、職員の皆様の日頃よりのご支援・ご協力に感謝いたしますとともに、皆様の益々のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げ、私の新年のご挨拶といたします。

管理者就任あいさつ

管理者 土山英彦

日頃より、ご家族様をはじめ、後見人、地域の皆様、その他多くの方々に温かいご支援とご協力をいただき、心からお礼と感謝を申し上げます。

この度、令和7年1月1日付で山本管理者の後任として障害者支援施設ばればれ管理者に就任いたしました土山と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

当法人には平成15年4月開設時から勤めており、その後、2度の表町分場勤務を経て、和気本場でサービス管理責任者を務めさせて頂いておりました。この間、障害者支援を取り巻く環境は厳しさを増し、その速度が緩むことはありませんでした。状況の変化を受け入れ、その移り変わりの速度に順応していくことが求められてきました。このような中、管理者という大役を仰せつかり、その職責の重大さに戸惑っておりますが、「明るく 元気に たくましく」全職員一丸となって利用者の皆様が安心安全にお過ごしただけよう努めると共に、理念に掲げている「共生」の実現に向けて、微力ではございますが、努力して参りますので、どうかご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

虐待根絶へ向けて

施設内で起きた虐待事件から半年が経過いたしました。被害者家族をはじめ保護者の皆様、法人役員、そして各関係機関の方々には、多大なご迷惑、ご心配をおかけしております。

このような状況下で、今、私たち職員がやるべき事、そしてやらなければならない事は、虐待の事実を真摯に受け止めて振り返り、虐待及び虐待の芽を見逃さない許さない風土を醸成することです。そして、安心してご利用いただける障害者支援施設になることです。そのために、「日常の当たり前」と思っている支援の見直し」「常に人権を意識し、命を守ることに緊張感を絶やさない」「支援をさせていただいていることが職員のやりがいや自信につながる」「もしも、支援に行き詰まり独りで悩む支援者がいたら手を差し伸べて一緒に悩める仲間集団」等への取り組みを継続していくことが大切であると思います。皆様方に安心してご利用していただける「障害者支援施設」を取り戻すべく、努力と工夫を積み重ねてまいります。

母と娘で思い出づくり

あけましておめでとうございます。

新年を迎え気持ち新たに職員の方々、ご家族の皆様と笑って過ごせる日々を期待しております。何でも話し合えるようにと思っていますので本年も宜しくお願い申し上げます。

年月が過ぎるのは早く、職員の皆様に助けてもらって18年目… 当時を振り返れば娘も随分成長したと、本当に感謝しかありません。

隔週帰宅する事を続ける中、喜んで帰宅、帰所を少し嫌がるも、車が着くと、嬉々として降りバイバイと手を振ってお別れ。何となく寂しさもありますが、これは喜ぶべきなのだと、我が身に言い聞かせております。

当初から精神的なものなのか？一部体調不良で外出等出来なかった娘ですが、やっと安定して来た頃には、コロナ禍で(2020年～2023年)全て楽しむ事が出来なくなりました。

娘の居ないお正月は有り得ないと、2020年末～明けて2021年1月12日まで、自宅待機を余儀なくされ、その間、裏山登山をしたり、体を動かしながら過ごした事。

コロナも収まりつつある2023年2月～、母一人娘一人の

ばればれ家族会 横山美佐子

ドライブ旅行を皮切りに思い出作りを始めました。人出の多い時期や暑い日を除いた時期に金毘羅さんの785段の階段も登りきった！

5月末には、一泊で鳥取の水木しげるロードに(ゲゲゲの鬼太郎)～青山剛昌ふるさと館へコナンに会いに!!

昨年2024年は、しまね海洋館アクアス(しろイルカ)へと、二人だけは不安だけど一人よりは心強いと…

旅館での様子は、とても社交的で贈りの方に丁寧なお礼が言えたりと、臆することも無く振る舞っていました。これも、施設での習慣の賜物なのだろうと有難く思っております。

意味不明な単語を並べ、誰にでも話しかけて「お母さんです！」とトイレ掃除されてる方に紹介してくれた事も…。こんな事、あんな事、あと何年思い出づくりができるだろうか？

さあ、今年は何処に行こうかな？と、老体にムチ打つ覚悟です。

施設での行事(台風で取りやめになったグランピングとか)も、ご無理のない範囲で予定される事を願っています。

施設旅行(1日外出)

毎年利用者様が楽しみにされている施設旅行で今年度は、須磨シーワールド・神戸どうぶつ王国・姫路セントラルパーク等に旅行に行きました。

旅行先ではいろんな動物をみたり、ショーを観賞したりして楽しめました。そして旅行先での楽しみの一つでもある、美味しい食事を食べました。

来年度も利用者様が元気に過ごされ、施設での生活が少しでも充実したものになるように支援をしていきたいと思ひます。(支援リーダー 角原光貴)

8月27日・10月28日
姫路セントラルパーク



9月18日
神戸須磨シーワールド



10月22日
渋谷マリン水族館



11月21日
ドイツの森

